

令和 8 年 9 月 1 4 日

南砺市長 田中 幹夫 殿

福光中部小学校 P T A 会長 森田 勇樹
福光東部小学校育友会 会長 梅原 通子
福光南部小学校育成会 会長 山本 峻平

福光地域 放課後児童クラブに関する要望書

現在、福光中部小学校では、学校に併設された「福光中部っ子クラブ」と、学校から約 1.7km 離れた福光きつずらんど内「きつずらんどクラブ」の 2 か所の放課後児童クラブを利用しております。

令和 10 年 4 月に予定されている福光地域小学校統合に向け、今後の放課後児童クラブのあり方について計画・検討が進められていることと存じます。

つきましては、統合 3 校 PTA といたしまして、児童が安心して放課後を過ごすことができ、保護者が安心して子どもを預けることのできる環境を整えていただきたいとの思いから、下記のとおり要望いたします。

1. 将来的な受け入れ体制の確保について R08-006-001 こども課 子育て応援係

少子化が進む一方で、近年、放課後児童クラブを利用したいという保護者のニーズは増加傾向にあります。

今後の児童数や利用希望者数の推移も見据え、現在の利用状況だけでなく、将来的にも希望する児童が安心して利用できるよう、十分な受け入れ定員と体制の確保について検討していただきたいと考えます。

2. 放課後児童クラブの移転について R08-006-002 こども課 子育て応援係

現在、福光中部小学校から約 1.7km 離れた福光きつずらんどクラブを利用する場合、児童の移動が必要となります。特に、雨や強風、冬期間の降雪時には、児童の移動について安全面で不安を感じている保護者も多く、課題となっています。

このことから、令和 10 年 3 月に閉校となる予定の市が所有する福光中学校校舎を活用し、放課後児童クラブを移転・整備することを要望いたします。



3. 福光中学校校舎を活用するメリット

(1) 既存施設を活用した環境設備

福光中学校の既存教室を活用することで、空調設備をはじめ、ランドセル棚など、児童の生活や学習に必要な環境を整えやすく、新たな施設整備にかかる負担の軽減も期待できます。

(2) 十分な活動スペースの確保

現在の放課後児童クラブとして使用している施設と比較して、福光中学校ではより広い教室面積を確保することが期待できます。

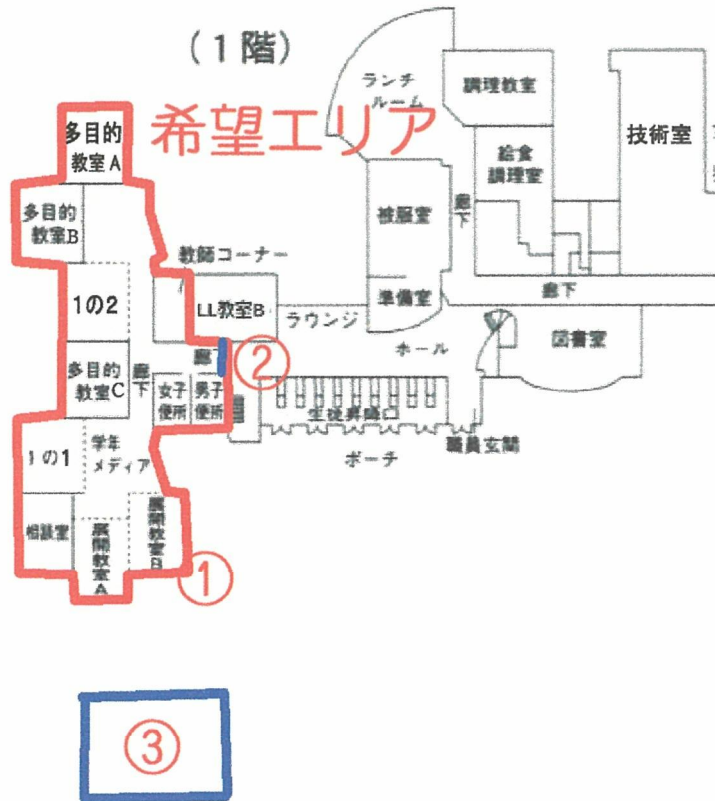
児童数や利用希望者が増えた場合にも対応しやすく、学習や遊びなど、児童が安全でゆとりを持って過ごせる環境の確保につながるものと考えます。

(3) 児童同士の交流と職員配置の効率化

放課後児童クラブを一か所にまとめることで、児童と一緒に過ごす機会が増え、学年を越えた交流や、児童同士のつながりを育むことが期待できます。

また、複数のクラブを一か所に集約することで、職員の配置や管理についても効率化が図られ、安定した運営体制の構築につながるものと考えます。

4. 福光中学校を活用した放課後児童クラブの設置イメージ



① 専用玄関の設置

現在の生徒玄関は他のエリアに行くこともできることから、放課後児童クラブ専用の出入口を整備する。

② 利用エリアの区分

児童が他のエリアへ容易に立ち入らないよう、遮蔽扉や間仕切り等を設置する。

③ 送迎用駐車場の整備

児童がお迎えの車が見えるエリアに、保護者の送迎用として4台程度の短時間駐車スペースを整備する。

以上、児童の安全・安心を第一に、令和10年の小学校統合後を見据えた放課後児童クラブの整備について、ご検討いただきますようお願い申し上げます。